

國島市長に問う!!

一般質問



12月10日から12日までの3日間、14人の議員が市政全般について質問しました。

12月10日(月)

12月11日(火)

12月12日(水)

	議員名	掲載ページ		議員名	掲載ページ		議員名	掲載ページ
1	若山 加代子	6	1	岩垣 和彦	9	1	藤江 久子	12
2	松山 篤夫	7	2	倉田 博之	10	2	谷澤 政司	13
3	山腰 恵一	7	3	車戸 明良	10			
4	中笈 博之	8	4	木本 新一	11			
5	渡辺 甚一	8	5	水門 義昭	11			
6	溝端 甚一郎	9	6	中田 清介	12			

※本会議などの様子は、市議会のホームページ・ヒットネットTVでご覧いただけます。
(インターネットでは、当日の生中継のほか録画配信により、いつでも閲覧することができます)

<http://www.city.takayama.lg.jp/gikai/gikai-eizou.html>



若山 加代子 議員

いじめ問題と教師の多忙化の解消について

【問】 一般紙の調査では、7割の教員がいじめ対策の時間が足りないと応えている。いじめへの対応で非常に重要な役割を果たしている教師が忙しすぎるといふ現状をどうとらえているか。

【答】 多忙であると思っっている。何によって多忙になっているのかの見極めが必要だと思っう。

【問】 いじめ対策は最優先されるべきだが、教師の多忙という状況を解決しなければ、いじめ問題も根本から解決できないのではないか。教師の多忙化解消の取り組みは。

【答】 今年度県では、

制度の拡大で木造住宅耐震化100%の達成を

実態調査をした。それにもとづき教職員が、元気に児童生徒と向き合う時間を確保することをねらいとした、教職員の多忙化解消アクションプランを開始している。市内の学校でも取り組んでいる。

木造住宅の耐震化について

【問】 高山市における木造住宅の耐震化の現状と課題は。

【答】 平成14年度から平成23年度までの耐震診断の助成件数は487件。今年度97件の見込みをあわせると、584件となる。補強工事は、平成16年から平成23年度までで60件。今年度予定の15件を合わせて75件と

いう状況。

耐震化を進めるうえでの課題は、工事の額が高額になる場合があること。大掛かりになること、また、住みながらの工事ということや、場合によっては一時的に引越して工事を行うというようなことがあると考えている。

【問】 補助金の拡大や融資支援などを考える必要があるのではないか。

【答】 市の助成制度は、他市と比較しても充実したものとなつている。一度に耐震の強度を確保する工事が実施できない場合には、耐震強度の7割以上とする工事にも助成をしている。制度の見直しは考えていない。融資支援については、勤労者の住宅資金融資や、住宅エコ推進補助等を合わせて利用できるの、新しい制度は考えていない。